

April  
2014

# The Record vol.653

文化庁が「改正著作権法の施行状況等に関する調査研究報告書」を公表  
GOLD DISC FESTIVAL 開催



<http://www.riaj.or.jp/lmark/>



## Contents

Monthly News Digest..... 1

### 特集

文化庁が「改正著作権法の施行状況等に関する調査研究報告」を公表..... 3

### 特報

GOLD DISC FESTIVAL 開催..... 7

平成 26 年度事業計画書..... 9

「第 6 回 CD ショップ大賞 2014」授賞式およびスペシャルライブ開催..... 11

公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出..... 12

Monthly Production Report..... 13

GOLD DISC..... 14

## 2/27

### PROMIC.TV

## 「J-POP NEWS」初の公開収録ライブ実施

2月27日、一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC）主催、株式会社テイチクエンタテインメントおよび当協会協力により、東京都渋谷区のSHIBUYA THE GAMEにてPROMIC.TV「J-POP NEWS」の第1回番組公開収録ライブが行われ、新人兄弟ギター・デュオ TarO&JirO がライブゲストとして出演した。

海外へ進出する日本アーティストのサポートを目的に、昨年の6月より英語圏の国々に向けてスタートしたPROMIC.TV「J-POP NEWS」。ライブゲストの TarO&JirO は、昨年当協会がインドネシア・ジャカルタで開催した「J-MUSIC LAB」に出演するなど、海外進出に向けたさまざまな活動を展開中である。

当日は、観客として世界各国からの日本在住海外留学生が招待され、SNS 完全フリーとして留学生のみなさんに自身の facebook や twitter などを通じて海外コミュニティーへライブ情報の拡散を促す試みなどもあり、TarO&JirO 圧巻のギターパフォーマンスを興奮さながらに撮影する多くの観客の姿が印象的であった。海外経験も豊富な TarO&JirO の 2 人は、MC も全て英語でこなし、ライブ終了後は番組 VJ のジョアンとのインタビューセッションに続き観客との交流会も設けられるなど、盛り沢山の内容に会場中が打ち解けあう中、終了となった。ライブの様子は 3 月 4 日および 3 月 11 日の 2 週にわたり PROMIC.TV「J-POP NEWS」(<http://www.youtube.com/user/promictv>) 内で紹介され、以後アーカイブ視聴が可能である。

com/user/promictv) 内で紹介され、以後アーカイブ視聴が可能である。



## 3/5

## ファイル共有ソフト等を使用した著作権法違反事件一斉集中取締りの実施について

警察庁から当協会が加盟する不正商品対策協議会（ACA）に入った連絡によると、全国の 45 都道府県警察は、ファイル共有ソフトなどを使用した著作権法違反事件の一斉集中取締りを 2 月 25 日から 27 日までの間に実施し、123 箇所を捜索、33 人を検挙（2 月 28 日現在）した。

当協会会員レコード会社に関わる事件概要は、つぎのとおり。

	警察 (所轄)	被疑者				事件概要 ソフト等
		住所	職業	性別	年齢	
1	秋田県警 (大館警察署)	秋田県 大館市	自営業	男性	37	Share
2	岐阜県警 (岐阜北警察署)	東京都 西東京市	会社員	男性	39	Share
3	佐賀県警 (諸富警察署)	熊本県 熊本市	会社員	男性	33	Share
4	茨城県警 (常総警察署)	埼玉県 川越市	会社員	男性	52	Share
5	兵庫県警 (生田警察署)	神戸市 兵庫区	准看護師	男性	39	Share
6	埼玉県警 (深谷警察署)	東京都 品川区	経営者	男性	28	Share

当協会は、今後も会員社・関係権利者や団体・警察と連携を密にし、積極的に違法行為撲滅のための取り組みを実施していく。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

# 3/6

## 「違法配信に関する利用実態調査」 (2013年版) 結果および 著作権保護・促進センターによる 削除要請件数公表

3月6日、当協会は、「違法配信に関する利用実態調査」を2012年9月、2013年3月および2013年9月の計3回実施し、このたび報告書を取りまとめ公表した。

本調査は、2012年10月の違法ダウンロード罰則化を含む著作権法改正施行の前後における違法ダウンロードの実態および違法ダウンロード罰則化に関する意識について把握し、より効果的に周知を図ることを目的として実施したものである。実態調査は、パソコンとタブレット・スマホおよび携帯電話における違法ファイルの利用状況を調査しており、流通経路として「アプリ・ツール」も対象に追加している。また意識調査では、違法ダウンロード罰則化について具体的な罰則規定を挙げ、それぞれの認知度を調査している。

また、違法ダウンロードの温床である違法アップロードされたファイルの削除要請をより一層強化する目的で、昨年4月に当協会内に著作権保護・促進センター(CPPC)を新設した結果、本年2月末までに行った削除要請件数は715,736件で昨年度1年間の約2倍となった。

本報告書並びにCPPCによる削除要請件数推移は、それぞれPDF版にて以下当協会HPに掲載。

- 違法配信に関する利用実態調査 (2013年版)
- 著作権保護・促進センター(CPPC)による削除要請件数結果  
(URL) <http://www.riaj.or.jp/release/2014/pr140306.html>

### ●●●会員社のお知らせ●●●

#### ■ 社名変更 (4月1日付)

新社名：株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ  
(旧(株)ソニー・ミュージックレコーズ)  
株式会社ソニー・ミュージックマーケティング  
(旧(株)ソニー・ミュージックディストリビューション)  
(賛助会員)

#### ■ 退会 (3月31日付)

社名：株式会社エスエムイーレコーズ  
株式会社エピックレコードジャパン  
株式会社キューンミュージック  
株式会社ソニー・ミュージックジャパン  
インターナショナル  
株式会社ソニー・ミュージックアソシ  
エイテッドレコーズ  
株式会社デフスターレコーズ  
株式会社アリオラジャパン  
(賛助会員)

※株式会社ソニー・ミュージックレーベルズの統合による

### ●●●当協会組織変更●●●

#### ■ (4月1日付)

法務部を著作権・契約部とする  
情報・技術部をDS(デジタル・ソリューション)部とする  
※法務部管轄の違法対策業務を著作権保護・促進センター(CPPC)へ移管する

### ●●●当協会事務局人事●●●

#### ■ 昇格 (4月1日付)

##### 楠本 靖

著作権・契約部長 兼 著作権保護・促進センター担当部長  
(前：法務部副部長 兼 著作権保護・促進センター担当部長)

##### 米内 友伸

広報部課長  
(広報部課長補佐)

### RIAJ2014年3月度理事会・総会議案

#### 第461回理事会議案

##### ■ 審議事項

1. 平成26年度事業計画書(案)および平成26年度収支予算書(案)について
2. 衛星テレビ番組のサイマル配信に係る使用料規程化について
3. 民放無料BS局との放送二次使用料協定締結について
4. 連奏試験機の倉庫費用を需要拡大施策予備費より支出する件
5. PROMICへの協賛金支払いおよび後援名義使用について  
(1) イギリス「THE GREAT ESCAPE」  
(2) シンガポール「J-MUSIC WEEKEND」
6. 予備費支出の件
7. 定款改正の件
8. 4月以降の委員長人事について

##### ■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件  
(1) 内閣府平成26年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」協賛依頼
2. 法制委員会関係報告  
(1) NHKとの二次使用料協議状況について  
(2) 文化審議会著作権分科会(3/5)報告「違法音楽配信に関する利用実態調査」(2013年版)他のRIAJ公表とあわせて
3. 情報・技術委員会関係報告  
(1) 歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HIRAC)解散について
4. マーケティング委員会関係報告  
(1) 第6回CDショップ大賞2014授賞式・スペシャルLIVE実施報告
5. 広報委員会関係報告  
(1) 第28回日本ゴールドディスク大賞について
6. 海外市場拡大委員会関係報告  
(1) 「知財事務局日本音楽国際展開TF」関連報告
7. その他報告  
(1) 会員社の異動について

#### 臨時総会議案

##### ■ 報告事項

1. 平成26年度事業計画書(案)および平成26年度収支予算書(案)について
2. 定款改正の件

# 文化庁が「改正著作権法の施行状況等に関する調査研究報告書」を公表

2014年3月5日、文化庁 文化審議会 著作権分科会において、2012年成立の「著作権法の一部を改正する法律（以下、「改正法」といい、改正法による改正後の著作権法を「改正著作権法」という。）」における、いわゆる「違法ダウンロードの刑事罰化に係る規定」施行状況等についての調査研究結果が報告された。本号ではその概要を特集として紹介する。

## 1. 調査研究の目的

改正法の附則第10条では、改正著作権法第119条第3項（有償著作物等<sup>※1</sup>の違法ダウンロードに係る刑事罰）および改正法附則第8条（関係事業者<sup>※2</sup>の措置）について、改正法の施行後1年を目途として、これらの規定の施行状況等を勘案し、検討が加えられ、その結果に基づいて必要な措置が講じられるものと規定されている。

本調査研究では、これらの施行状況等についての調査・検討を行うこと。

※1 改正著作権法第119条第3項において、「録音され、又は録画された著作物又は実演等（著作権又は著作隣接権の目的となっているものに限る。）であって、有償で公衆に提供され、又は提示されているもの（その提供又は提示が著作権又は著作隣接権を侵害しないものに限る。）」と規定されている。具体的には、①録音又は録画された著作物又は実演等であること、②有償で公衆に提供又は提示されているものであること、③その提供又は提示が著作権又は著作隣接権を侵害しないものであることが要件となる。

※2 「有償著作物等を公衆に提供し、又は提示する事業者」のこと。改正法附則第8条では、事業者に対して、有償著作物等の違法ダウンロードを行うことにより著作権又は著作隣接権を侵害する行為（特定侵害行為）を防止するための措置を講じる努力義務が課せられている。

## 2. 調査研究の内容・方法

### 【関係事業者が講じた各種関連措置】

関係事業者が講じた各種関連措置とその評価に関する分析を行うために、業界団体、コンテンツ配信事業者を対象としたヒアリング調査を実施したほか、国が講じた各種関連措置について整理。

### 【インターネット利用者における改正著作権法の認知状況・評価・行動の変容等】

違法ダウンロードの刑事罰化について、インターネット利用者向けのウェブアンケート調査を実施し、改正著作権法の認知状況、評価、行動の変容等について把握し、改正による抑止効果があったかどうか等について分析。

ウェブアンケート調査は、50,000サンプルのスクリーニング調査でインターネットユーザの全体傾向を把握したうえで、2012年10月1日より前にも有償で販売（配信）されている音楽や映像をインターネットから無料でダウンロードした経験があると回答した層に対して本調査を実施（本調査のサンプル数は1,392）。調査実施時期は2013年10月。

### 【客観的な指標に基づく違法ダウンロードの刑事罰化の影響に関する検討】

違法ダウンロードの刑事罰化がもたらす影響に関して、インターネットトラフィック、P2Pファイル共有ソフトネットワークにおける各種数値等の客観的な指標等に基づいて検討。

【調査研究委員会における検討】

情報セキュリティ大学院大学の苗村憲司特別研究員を座長とする、「調査研究の内容を検討する委員会」を設置。委員会のメンバーは、以下の通り。

池村 聡 弁護士（森・濱田松本法律事務所）	奥邨 弘司 慶應義塾大学大学院法務研究科 教授
高野 ひろみ 特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟 専門委員	苗村 憲司 情報セキュリティ大学院大学 特別研究員
前田 哲男 弁護士（染井・前田・中川法律事務所）	山名 早人 早稲田大学理工学術院 教授

（五十音順、敬称略）

改正著作権法における「違法ダウンロードの刑事罰化」に係る規定  
2012年10月1日施行

1年経過

「違法ダウンロード刑事罰化に係る規定」の施行状況等の調査研究

ヒアリング調査

対象：関係事業者（業界団体・コンテンツ配信事業者）および国

ウェブアンケート調査

対象：有償の音楽や映像をインターネットから無料でダウンロードした経験があるインターネット利用者

客観的な指標等に基づく違法ダウンロードの刑事罰化の影響に関する検討

- ◆ インターネットトラフィック
- ◆ P2Pファイル共有ソフトネットワークにおける各種数値\*\*X
- ◆ 違法ダウンロードに利用される可能性があるサイト等の利用者数

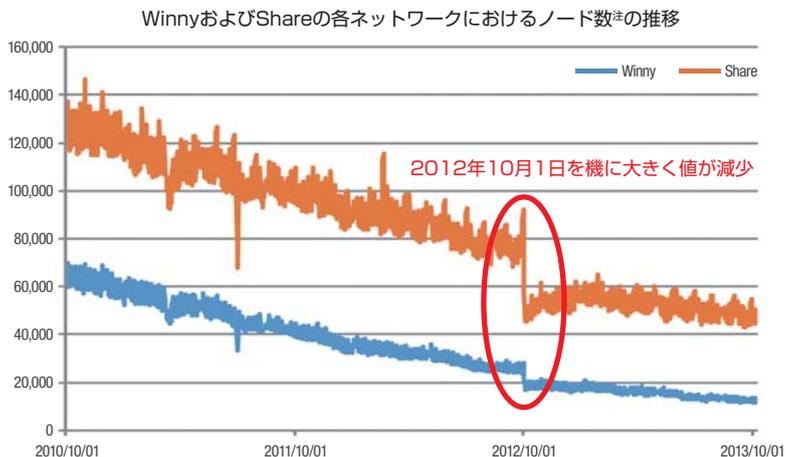
調査研究の内容を検討する委員会による検討

- 違法ダウンロードを防止するための各種関連措置は、関係事業者（業界団体・コンテンツ配信事業者）等によって実施されたか？
- 法改正の事実は認知されたか？
- 法改正の内容は正しく理解されたか？
- 違法ダウンロードは抑止されたか？
- 正規コンテンツの流通に影響はあったか？

\*\*X P2Pファイル共有ソフトネットワークにおける各種数値

P2Pファイル共有ソフトネットワークのうち、WinnyおよびShareの各ネットワークにおける1日あたりのノード数について、2010年10月1日～2013年10月7日の推移は右記図表のとおりであった。

注 IPが割り当てられているノード（コンピュータやネットワーク機器等）の数。当該P2Pネットワークに参加しているコンピュータ数とほぼ等しくなる。



資料）株式会社クロスワープ提供データ

### 3. まとめ

#### (1) 違法ダウンロードの刑事罰化は、違法ダウンロードに一定の抑止効果を及ぼしたものと評価できる

P2Pファイル共有ソフトネットワークにおける有償著作物等に該当すると考えられる音楽、映像ファイルの検知ノード数等や、違法ダウンロードに利用される可能性があるサイト等の利用者数の推移等といった客観的な指標に基づく検討結果、違法ダウンロードの可能性があると考えられる行動について、「減った」「やめた」とした回答者の割合が平均で50%程度に上ったアンケート調査結果等からすると、違法ダウンロードの刑事罰化が、違法ダウンロードに一定の抑止効果を及ぼしたものと評価できる。

(なお、改正法の施行後、有償著作物等の違法ダウンロードを被疑事実とした検挙は、2014年12月時点ではない。)

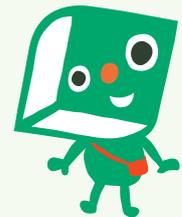
#### (2) 関係事業者・国等による普及啓発活動の展開もあり、刑事罰化の認知度は比較的高い水準である

関係事業者等において、普及啓発活動を中心とした各種関連措置が積極的に講じられたことが確認された。また、国等による啓発活動がさまざまな形で実施されたことも相まって、改正法の施行後1年程度経過した段階で、違法ダウンロードの刑事罰化についての認知度は比較的高い水準に達していると評価できる。

#### 当協会の取り組み

##### ◆ エルマークの充実（3種類のマークを新たに作成・導入、キャラクター「エルマーくん」の作成等）を図った

2014年年12月末時点のエルマーク採用実績は267配信事業者、1,643サイトである。一方、本アンケート調査結果によれば、エルマークの認知度は約14%であり、更なる認知拡大が求められている。



エルマークキャラクター  
エルマーくん



エルマーク



ダウンロードOK

ダウンロードできる  
正規コンテンツです。



視聴のみOK（ストリーミング）

視聴のみできる  
正規コンテンツです。



転載OK

転載もできる  
正規コンテンツです。

##### ◆ 関係業界団体と協力して「STOP! 違法ダウンロード広報委員会」を設立し、さまざまな広報活動を実施

関係業界団体と協力して「STOP!違法ダウンロード広報委員会」を設立し、①キャンペーンサイトの作成、②ウェブサイトへの広告掲載、③啓発用グッズ・ポスター等の作成・配布、④映画盗撮防止法CMIに、違法ダウンロード刑事罰化に関する新たな注意喚起メッセージを追加等、さまざまな広報活動を実施した。



**(3) 刑事罰の対象となる行為の具体的内容等に係る理解度は必ずしも十分ではなく、また、エルマークは、ユーザ認知拡大に向けた取り組みの途上である**

最後に、今後、違法ダウンロードの刑事罰化に係る具体的な内容についての理解度を高めるためには、普及啓発活動において、ユーザを的確な情報ソース<sup>※1</sup>に誘導すること、受け手の特性に合った媒体<sup>※2</sup>等も活用しながら、刑事罰の対象となる要件をはじめとした違法ダウンロードの刑事罰化に係る法改正の内容をより分かりやすく伝えるような工夫を行うこと、関係事業者および国等が適宜適切に協力を行っていくこと等が重要である。

また、関係事業者においては、上記の普及啓発活動に加え、エルマークの普及促進・認知拡大をはじめとする、違法ダウンロードを防止するための措置をより一層進めていくことも重要である。

※1 ウェブアンケート調査結果から、文化庁のホームページは、的確な情報ソースの一つになり得るので、これを有効活用し、違法ダウンロードの刑事罰化の内容についての理解度向上を図ることができる。

※2 ウェブアンケート調査結果から、違法ダウンロードの刑事罰化を知るきっかけとなった媒体については、「15～19歳」は「SNS」、「20～29歳」は「映画館で流れるCM」の割合が高かった。

本調査研究報告書は、以下の文化庁ウェブサイトにて公開中である。



(改正著作権法の施行状況等に関する調査研究報告書の概要)

[http://www.bunka.go.jp/Chosakuken/singikai/bunkakai/39/pdf/shiryo\\_6\\_1.pdf](http://www.bunka.go.jp/Chosakuken/singikai/bunkakai/39/pdf/shiryo_6_1.pdf)



(改正著作権法の施行状況等に関する調査研究報告書)

[http://www.bunka.go.jp/Chosakuken/pdf/h25\\_12\\_hokokusho.pdf](http://www.bunka.go.jp/Chosakuken/pdf/h25_12_hokokusho.pdf)

## GOLD DISC FESTIVAL 開催



2月22日、東京都渋谷区の渋谷公会堂において、当協会が主催する GOLD DISC FESTIVAL (GD フェス) が開催された。前週降り積もった雪が残り凍てつく風が吹くなか、開場前から多くの観客が列を連ねる姿が見られるなど、渋谷公会堂は 2,000 名の観客で埋めつくされた。

会場が暗転し、司会の赤坂泰彦さんの「アーティストたちは、一人でも多くの方に作品が届くことを願い日々活動しています。日本ゴールドディスク大賞とはまさにその証～音楽に『ありがとう』を言う賞でもあります。」との重みのある言葉で幕を開けた同イベント。第 28 回日本ゴールドディスク大賞のプレイベントとして開催され、赤坂さんとアーティストの和やかなトークとともに、水樹奈々さん、クリス・ハートさん、May J. さん、miwa さん、きゃりーぱみゅぱみゅさん（出演順）5 組のネクストミリオンアーティストが“音楽ファンへの感謝”の想いを全身全霊で表現した。

次々に繰り上げられる個性豊かなステージを会場中が笑顔と興奮で見届けた後、再び赤坂さんの「会場の皆さん、CD ショップに是非行って下さい！新しい音楽の発見が必ずあります。どうか皆さん、自分が手にした音楽を信じて、愛して、これからも素敵な音楽と出会って下さい！」の言葉とともに約 3 時間にも及ぶイベントは大盛況のうちに幕を閉じた。

### 水樹奈々

昨年、初の海外単独公演を台湾で開催。本年も台湾での公演が決定しているなど今や「声優」「アニソン」の枠を飛び越え海外へも活躍の場を広げる水樹奈々。サイリウムと歓声が舞いヒートアップする会場に『初めての方、騒騒しくてすみません（笑）。骨太な曲が多いので大暴れしますが、トップバッターとして会場を暖めまくって次のアーティストにバトンタッチします！』との MC でファンと一体とした激熱のステージを展開。ゴールド認定アルバム「ROCKBOUND NEIGHBORS」の楽曲を中心に『全力の愛と感謝を込めた』歌声を響かせた。『曲は自分の分身であり子供のように思っているの、皆さんが曲と一緒に愛してくれる事が本当に嬉しいです！』

[セットリスト]

① Synchrogazer -Aufwachen Form- ② Naked Soldier ③ Lovely Fruit ④ 奇跡のメロディア ⑤ 愛の星



### クリス・ハート

第 28 回日本 GD 大賞 [企画・アルバム・オブ・ザ・イヤー] 受賞のカバーアルバム「Heart Song」から「home」と、自身が J-POP を好きになったきっかけの曲という Kiroro の「未来へ」他を披露。様々な日本アーティストの名曲の数々をカバーした同アルバムの選曲方法は『ある種の自己紹介として、自分が影響された曲や力をもらった曲を選びました』心震える奇跡の歌声と『皆さんのおかげで日本は僕の home になりました』のハートフルな MC で観客の心も温めた。『去年のテーマは“出会い”でしたが、今年は“繋がり”をテーマに、みんなのストーリーを歌いたいです』

[セットリスト]

① 夢がさめて ② 未来へ ③ まもりたい～magic of a touch～ ④ I LOVE YOU ⑤ home





## May J.

日本、イラン、トルコ、ロシア、スペイン、イギリスのバックグラウンドを持つマルチリンガルアーティスト May J.。『元々 J-POP はあまり聞きませんが、カバー曲を出して欲しいというリクエストが本当に多くて、求めてくれる人に全力で応える形で作った』と語ったゴールド認定カバーアルバム「Summer Ballad Covers」から「ハナミズキ」「I DREAMED A DREAM」を歌い上げる姿は観客の心情に訴えかけるものがあり、司会の赤坂さんも思わず『すごい歌唱力ですねー』

[セットリスト] ① ハナミズキ ② Lovin' you ③ I DREAMED A DREAM ④ BELIEVE ⑤ Garden



## miwa

キュートなルックスと透き通った歌声でアルバム「Delight」シングル「ミラクル」がゴールド認定を受けるなど、瞬間にスターダムに駆け上がりネクストミリオンを目指す、乗りに乗っている miwa。『リリースの度に毎回自分の CD を手に取ってくれる人の姿を見に CD ショップへ行きます。一枚一枚 CD を作って、一枚一枚手に取ってくれる人がいてこのステージに立っています』と感慨深い MC で観客に感謝の言葉を語った。「ミラクル」のサビではタオルを振り回す大勢の観客と一体になり、瑞々しい歌声を響かせた。

[セットリスト] ① 441 ② don't cry anymore ③ ミラクル ④ ヒカリへ



## きゃりーぱみゅぱみゅ

アーティスト活動とファッション面の活動を掛け合わせた HARAJUKU のアイコンとしての存在が全世界から注目を集め、昨年はアルバム「なんだこれくしょん」がプラチナ認定を受けるなど、ネクストミリオンに最も近い圧倒的な存在感のきゃりーぱみゅぱみゅ。6名のダンサーとともに歌い踊る POP なステージでトリを飾った。6月まで続く2度目となるワールドツアーの真っ最中という事で『これからも日本の音楽を世界に発信してゆきます!』と宣言し、新曲「ゆめのはじまりんりん」の他「ファッションモンスター」など独自の世界観溢れるパフォーマンスを繰り広げた。

[セットリスト]

① なんだこれくしょん ② インベーターインベーター ③ もったいないとらんど ④ ゆめのはじまりんりん ⑤ ファッションモンスター



## 平成 26 年度事業計画書

平成 25 年の市況を振り返ると、音楽パッケージソフト（オーディオレコードおよび音楽ビデオの合計）の年間生産金額が前年比 87% の 2,705 億円に減少し、有料音楽配信の売上金額も、PC・スマートフォン向けシングル・ダウンロードの年間売上金額が前年比 122%、サブスクリプションサービスが同 518% と大きく成長したものの、フィーチャーフォン向け配信の急速な減少により市場全体では前年比 77% の 417 億円にとどまった。この結果、音楽ソフト（オーディオ+音楽ビデオ）の生産金額と有料音楽配信売上の合計は 3,121 億円となり、好調だった前年の 85% の規模に減少した。

このような厳しい業界環境を踏まえ、当協会は、平成 22 年度に打ち出した 8 項目の重点施策（①「違法音楽配信の撲滅」、②「需要拡大施策の拡大」、③「レコード製作者の権利収入の拡大と適正な分配」、④「レコード製作者の権利の確保、強化」、⑤「シェアードサービスの拡大」、⑥「著作権教育・啓発活動の充実」、⑦「シンクタンク機能の充実」および⑧「音楽文化の維持、発展のための施策」）を当協会が担う 4 つの役割に整理し、各々優先度をつけて取り組む。当協会の 4 つの役割とは、(1) 業界の収益を「伸ばす」、(2) 違法を「なくす」、(3) レコード産業への理解・著作権思想を「広める」および (4) 業界の情報基盤整備により足元を「固める」ことである。

これら事業のうち、平成 26 年度は、政府のクールジャパン戦略に則した日本音楽の海外展開促進等により業界の収益を「伸ばす」事業と、平成 25 年度に設置した特命組織「著作権保護・促進センター（CPPC）」を中心とした違法を「なくす」事業に特に注力して取り組む。

平成 26 年度の具体的な事業は以下の通りである。

### 【事業活動】

#### 【1】レコード等の普及に関すること

##### 1. 「音楽 CD の再販制度」の維持

- (1) 再販制度の弾力運用を推進するとともに、音楽文化発展の基盤となる再販制度の存置を引き続き求めていく。
- (2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを開催する。

##### 2. レコードの需要拡大施策の展開

- (1) ミュージック・ジャケット大賞」を継続して実施する。関連イベントである「ミュージックジャケットギャラリー」と運営を統合する組織「Music Jacket Promotion Committee」を設置し、コスト削減を図るとともに、相互の連携を向上させることで更なるユーザーの認知拡大に取り組み、パッケージユーザーの拡大に結び付ける。
- (2) 商品カタログ製作、CD ショップ大賞への協賛等販売店の活性化に資する施策を検討し実施する。

##### 3. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

音楽業界で唯一、実績数字に基づく顕彰制度である「日本ゴールドディスク大賞」を継続して実施する。平成 25 年度イベントとして開催した「GOLD DISC FESTIVAL (GDフェス)」の効果を検証し、同賞の更なる認知拡大に取り組むことにより音楽文化の維持・発展を図る。

##### 4. 日本音楽の海外展開の促進

- (1) 海外への日本音楽のライセンスアウト拡大に向けて、音楽産業・文化振興財団 (PROMIC) 主催の「東京国際ミュージックマーケット (TIMM)」に積極的に参画し、成約実績の拡大と成功事例の創出を図る。
- (2) 海外での日本音楽のムーブメント創出を目指し、平成 25 年度にインドネシアのジャカルタで実施した「J-MUSIC LAB」を継続するとともに、関係省庁、関係団体等の協力を得て取り組みの更なる拡大を目指す。
- (3) 放送番組の海外展開促進に関する総務省施策を受け、平成 25 年度に引き続き、原盤権処理効率化を目的とした集中管理化の実験対応を行い、課題を検証する。
- (4) その他、関係省庁、関係団体等との連携により日本音楽の海外展開促進に資する適切な施策を検討し、実施する。

##### 5. 大学寄附講座の開設

平成 26 年度は、明治学院大学に寄附講座を開設し、若年層のレコード産業・著作権制度に対する理解を深める。

##### 6. RIAJ セミナーの開催

会員社を対象に原則として毎月 1 回開催するとともに、一部テーマについては広く一般公開も検討する。

##### 7. その他

“Music J-CIS” (Music Japan-Copyright Information Service) の構成団体として、音楽権利情報データベースの充実を図る。

#### 【2】レコード等に関する調査研究およびデータの収集

##### 1. 市場調査、産業統計の充実

パッケージ商品および音楽配信に関する各種産業統計データの的確な集計・分析を行い迅速に公表する。

##### 2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

29 年目を迎える「音楽メディアユーザー実態調査」を継続実施し、経年変化を把握するコア調査とともに、特定テーマを選定し、その深掘り調査も行う。

##### 3. 私的違法ダウンロードに関する実態調査の実施

私的違法ダウンロードの実態変化を経年観測・検証するため、違法ダウンロードの実態調査を実施する。

#### 【3】レコードを通じた音楽文化の保存に関すること

##### 1. アナログレコードのアーカイブ化に関する研究

アナログレコード (EP 盤、LP 盤等) を文化的資産として保存および利用するため、デジタルアーカイブ化の実現に向けた検討を行う。

##### 2. 「文化庁芸術祭」への協力

レコード部門における受付窓口として、選考申請および審査に協力する。

##### 3. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

録音エンジニアの技術向上と地位確立を目的として継続実施する。

#### 【4】著作権および著作権隣接権等の普及・啓発に関すること

##### 1. 違法音楽配信を撲滅するための対策の強化

- (1) 違法配信対策の専任組織「著作権保護・促進センター (CPPC)」に違法対策業務を集約し、違法音楽ファイルの削除要請の更なる拡大など、違法対策の強化と効率化を図る。

- (2) 動画共有サイトに関しては、海外サイトへの対策を強化する。国際レコード産業連盟(IFPI)との連携により海外サイトへの削除要請を拡大するとともに、中国サイトについては、サイト運営事業者への直接訪問による協力関係の強化や「コンテンツ海外流通促進機構」(CODA)等関係団体との連携により対策の強化を図る。
- (3) 違法な音楽利用を助長するスマートフォン向けアプリに関して、アプリ提供者等に対する注意喚起・警告活動や、アプリ削除要請、違法ファイルへのリンク削除要請、ファイル削除要請等を継続実施するほか、フィルタリング(起動阻止)対策を技術提供会社と協力して実施する。
- (4) 悪質な違法行為者の告訴等を継続して実施する。
- (5) 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」(CCIF)の取り組みに継続参加し、違法行為者に対する啓発メールによる注意喚起活動を強化する。
- (6) ファイル共有ソフトを悪用した違法行為者のうち特に悪質性の高い者に関して、発信者情報開示請求に基づく損害賠償請求や告訴等の対応を強化する。

## 2. 「私的違法ダウンロード罰則化」等の広報・啓発活動

私的違法ダウンロード罰則化に係る改正著作権法の更なる周知活動および違法配信問題をテーマとした啓発活動を実施する。また、適法配信識別マーク(エルマーク)の認知拡大のため、キャラクター「エルマーくん」を活用した広報活動を実施する。実施にあたっては関係団体の協力を得て音楽業界全体による啓発活動となるよう取り組む。

## 3. 著作権教育活動の実施

他団体、企業等との連携等により、若年層への著作権教育の機会を増大するなどの取り組みを強化する。

## 4. 「レコード保護期間」の延長に向けた活動

国内外の権利者団体等と連携を取りながら、レコード保護期間延長に向けた活動を継続する。

## 5. 「私的録音録画補償金制度」の見直しを求める活動

文化庁著作権分科会法制・基本問題小委員会における検討を踏まえ、関係省庁および他の権利者団体と連携して補償金制度に代替する新たな対価還元制度の検討を行う。

## 6. レコードの業務上の利用から適正な対価が還元される制度創設に向けた活動

実演家団体と連携して制度創設に向けた関係省庁への働きかけを継続して実施する。

## [5] レコード等に関するデータの公表

レコード産業への理解促進と産業全体のイメージ向上を図るため、機関誌、ホームページ、プレスリリース等を活用して積極的に情報発信するとともに、社会貢献活動や文化活動についても広報する。

## [6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取決めならびに徴収および分配

二次使用料を安定的に確保するために、放送・有線放送事業者との間で協議を実施し、使用料水準の維持確保に努める。

## [7] レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取決めならびに徴収および分配

### 1. 放送番組のネット配信にかかる集中管理に関する取組

会員社・利用者双方から集中管理の要望がある利用形態への集中管理範囲の拡大を検討するほか、現行の使用料規程の実態に即した見直しと未整備の規程整備を行う。

### 2. 教育・文化・冠婚葬祭分野のレコード利用集中管理事業の推進

平成26年1月に導入した教育・文化系催事に係る一任型集中管理事業を円滑に推進するとともに、プライダル分野についても集中管理事業化に向けた取り組みを進める。

## [8] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取決めならびに徴収および分配

貸レコード使用料等の新分配スキームについて、運用の安定化・効率化を図る。

## [9] 私的録音録画補償金に関する指定管理団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の受領および分配

私的録音補償金管理協会(sarah)および私的録画補償金管理協会(SARVH)の構成員として、私的録音録画補償金制度の円滑な運用を支援する。

## [10] その他

### 1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等

文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見を表明する。

### 2. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体ならびに国際レコード産業連盟(IFPI)およびアメリカレコード協会(RIAA)等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を積極的に推進する。

### 3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営

レコード制作者としての社会的倫理責任を果たすため、「レコード制作基準」に則り「レコード倫理審査会」を開催・運営する。

### 4. 業界規格(RIS)の制定と改正

CD等レコード商品の表示、付属品等に関する日本レコード協会規格(RIS)について必要な制定・改正を行う。

### 5. 「ISRC」(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動

音源の識別に利用される「ISRC」(国際標準レコーディングコード)の国内登録管理機関として、普及・管理に関する活動やコードの申請受付・交付等を行う。

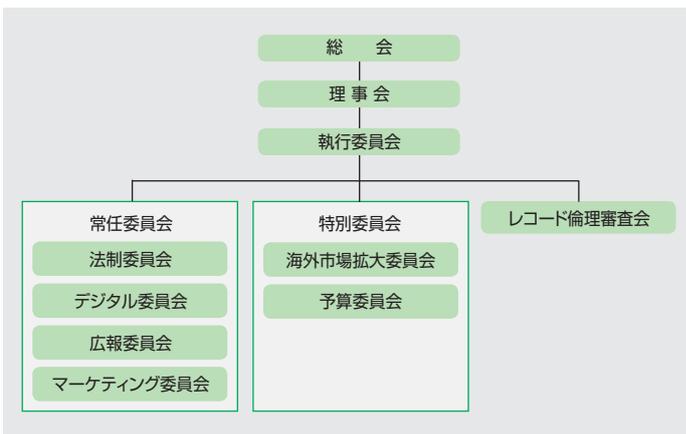
### 6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

福祉厚生・療養施設(児童福祉施設、老人ホーム等)の方々に音楽を楽しんでいただく事を目的として昭和38年(1963年)から毎年実施しているレコード(CD)寄贈事業を平成26年度も継続する。また、東日本大震災被災地への寄贈も継続する。

### 7. 会員社業務の集約化(シェアードサービス)

- (1) 平成24年度に実施した放送局向けオンラインプロモーション実証実験の結果を踏まえ、放送用音源ファイルの提供を含む実証実験を行う。
- (2) 会員社業務の効率化と負担軽減を図るため、集約化が考えられる業務に関する会員社ニーズを引き続き把握する。

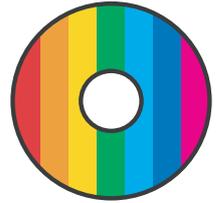
## 〔運営体制〕



本年度の事業遂行のため、関係官庁ならびに関係団体の協力を得て業務を推進する。

# 「第6回 CD ショップ大賞 2014」授賞式および スペシャルライブ開催

全国CDショップ店員が選んだ  
行かないや 会えない 音がある。



第6回CDショップ大賞2014

全日本 CD ショップ店員組合は、3月6日、東京都港区の Zeep Tokyo にて、第6回 CD ショップ大賞 2014 授賞式およびスペシャルライブを開催した。

第6回目となった今回の授賞式では、大賞にマキシマム ザ ホルモン「予襲復讐」、最優秀新人賞に KANA-BOON が表彰され、さらに入賞作品、部門賞、地方賞の発表が行われた。

授賞式では、大賞受賞作品の発表とともに、マキシマム ザ ホルモンのメンバー全員が登場し、記念の盾を手に受賞の喜びをホルモン節で爆発させた。受賞の感想を求められたダイスケはんは、「めっちゃ嬉しいです。今日のために、おめかししてきてよかったです」と泣き真似をしながらコメントし、会場の笑いを誘った。ナヲは「大賞受賞をありがとうございます。6年ぶりにリリースした『予襲復讐』は、レジで裏ジャケットを見せて購入というミッション等があり、CD ショップ店員の皆さんの協力なしでは今回の受賞はなかったと思っています。これからも、店員さんを巻き込んで、一緒にムーブメントを起こしていきたいと思っていますので宜しくお願いします」と感謝の意を述べた。また、最優秀新人賞を受賞した KANA-BOON は、メンバーの代わりに株式会社キューンミュージック レーベルビジネス本部 制作部 藤江充夫氏がトロフィーを受け取り「昨年はバンドにとって怒涛の一年でした。今回の受賞はメンバーも非常に喜んでます。これからも CD ショップ店員の皆さんの愛情に応えられるような作品を作っていきたい」と語った。なお、授賞式の模様は Ustream で配信された。

## 大賞 マキシマム ザ ホルモン 「予襲復讐」(VPCC-81770)



全国のCDショップ店員さん達とともに  
トロフィーを手に喜びを爆発させるマキシマム ザ ホルモンの皆さん

### CD ショップ店員さんのコメント (抜粋)

- ◇ 何年待たされたことでしょう。中二の青臭い若気の至り、忘れていた何かを思い出させ、奮い立たせてくれる曲のラインナップ。まさに捨て曲なしの名アルバム。あなたが最後に握ったこぶしを突き上げたのはいつですか？思い出せない全ての人へ、そんな一枚です。
- ◇ ジャケットワーク・楽曲ともに最高のアルバム。裏ジャケットを恥ずかしそうにレジに置く人たちにキュンときました。
- ◇ 「この音楽、好きだから売りたい」原点に戻れた気がします。世の中にはさまざまなジャンルの音楽があふれていて、素晴らしい音楽はたくさんあるのだけれど。「好きだから」ただそれだけです。



## 最優秀新人賞 KANA-BOON ※「DOPPEL (KSCL-2315)」「僕が CD を出したら (RCDA-1030)」の2作品が、『入賞』と『ニューブラッド賞』も受賞し4冠を獲得

### CD ショップ店員さんのコメント (抜粋)

- ◇ 癖になるメロディーと日本語を転がすような歌詞の親和性が抜群。口に出して歌いたいロック。[DOPPEL]
- ◇ キャッチーなリズムにのせて時にシリアスで時にシニカルで、そして痛いほどピュアで。楽しいけれど、油断しているとふっと心の奥底をキュンとさせられてしまうのだよなあ。ようするに KANA-BOON の魅力にとっぴり浸れる良きアルバムです。[DOPPEL]
- ◇ いつの時代にも届くようなキャッチーさで、「大好きな音楽」を鳴らす彼らにはこのアルバムで心を掴まれました。いつか現代の音楽も、誰かが振り返った時に、この時代はこうだったと語られるのかもしれないけれど、そのどこかに彼らの音楽が鳴っていますように。[僕が CD を出したら]



また、同日夜には、同じく Zeep Tokyo にて CD ショップ大賞スペシャルライブが開催された。今回のイベントには過去に大賞を受賞した THE BAWDIES と MAN WITH A MISSION、そして第6回 CD ショップ大賞でニューブラッド賞を受賞したキュウソネコカミと関東ブロック賞に選ばれた Charisma.com の4組が集い、会場を大いに盛り上げた。

トップバッターの Charisma.com は、ステージ上を自由に歩き回り、手拍子を煽ってフロアをアジテート。続くキュウソネコカミのエネルギッシュなステージで場内の熱気は急上昇。会場のボルテージが上がったところで、3番手に第2回 CD ショップ大賞受賞者の THE BAWDIES が登場。ミラーボールが回る中、硬派なロックンロールで観客を魅了した。トリを飾ったのは、昨年の第5回 CD ショップ大賞受賞者である MAN WITH A MISSION。メンバーが姿を現すと、観客からは大歓声が起こり、フロアの盛り上がりは最高潮に達した。アンコールでは DJ Santa Monica が客席へダイブするなど、大熱狂の中で幕を閉じた。



Charisma.com



キュウソネコカミ



THE BAWDIES



MAN WITH A MISSION

※入賞作品については、本誌3月号に掲載済み。部門賞・地方賞については、全日本CDショップ店員組合サイト (<http://www.cdshop-kumiai.jp/>) をご参照下さい。

## 公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出

3月17日、当協会は2013年12月31日時点のレコードメーカーによる「音楽CD等の再販制度の弾力運用の状況について」を報告書として取りまとめ、公正取引委員会に提出した。今回は、同報告書より抜粋した内容を掲載する。なお、当協会ホームページにて全文を公開している。(http://www.riaj.or.jp/all\_info/saihan/saihan7.html)

### 【音楽用CD等の再販制度に関する弾力的な運用と流通改善について】

#### 1. 時限再販・部分再販等再販制度の運用の弾力化

##### (1) 時限再販期間の短縮について

レコードメーカー各社は、1998年以降時限再販期間の更なる短縮に取り組み、現在再販期間は1年または6カ月となっている。

##### (2) 時限再販期間経過後商品の値引き販売について

店頭値引きセールは恒常化している。

##### (3) 非再販商品の発売と値引き販売について

全CD新譜は16,528タイトルと、前年(2012年15,076)より増加したが、CD+DVD商品は2,006タイトル(2012年2,083)、非再販CDのタイトル数は1,201タイトル(2012年1,951)と若干減少し、CD+DVD商品および非再販CDの合計で3,207(2012年4,034)タイトルが非再販商品として発売された。

CD+DVD商品は大型ヒット作品で多く発売されており、2013年に発売され正味出荷枚数が100万枚を超えた「ミリオン認定作品」は5タイトル(2012年9タイトル)あったが、その全てがCD+DVD商品の形態で発売された。

##### (4) インターネット廃盤セールの実施

1992年度から毎年実施しており、好評を得ている。

名称：レコードファン感謝祭

～廃盤CDディスカウントセール～

日程：2014年1月8日(水)～1月22日(水)15日間

出品商品：種類約1,500タイトル、総数約36,000枚

廃盤商品は発売時定価の70%引き、時限再販期間経過商品は発売時定価の25%引きで販売。

##### (5) 価格表示方法の変更について

商品が非再販となっているか否かを認知しやすい方法に変更している。

#### 2. 各種割引制度の導入等価格設定の多様化

2013年のアルバムの年間平均小売価格は1,880円となり、2012年の1,872円よりも8円上昇した。なお、2001年当面存置決定当時の2,399円対比では約22%下落している。

#### 3. 再販制度の利用・態様についての発行者の自主性の確保

従来からレコードメーカー各社が自らの判断で決定しており、今後も同様である。

#### 4. サービス券の提供等消費者に対する販売促進手段の確保

サービス券・ポイントカードは消費者サービスの一環として定着している。

#### 5. 通信販売・直販等流通ルートの多様化及びこれに対応した価格設定の多様化

メーカー各社は、従前から消費者の購入利便性の向上のため、通販・直販等流通ルートの多様化に取り組むと同時に、多様な価格設定を行っている。

#### 6. 円滑・合理的な流通を図るための取引関係の明確化・透明化その他取引慣行上の弊害の是正

取引関係に関する特段の弊害はない。

#### 7. その他

レコードメーカー各社、販売店、有料音楽配信サイトでは、CD音源の無料試聴サービスを実施している。また販売店においては、高速大容量配信ネットワーク型の音楽検索試聴システムを導入しており、2013年12月末時点で686店に1,683端末が設置され、バーコード検索により300万曲の試聴が可能となっている。

レコード業界は、音楽用CD等の再販制度について国民から引き続き理解が得られるよう、今後も消費者利益の向上を目指し、音楽用CD等の企画の多様性の確保、流通の合理化などの改善に積極的に取り組んでまいります。

以上

# Monthly Production Report

## 2014年2月度レコード生産実績

2月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比90%の1,877万枚・巻、金額で同92%の203億円となった。内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比95%の1,504万枚・巻、金額で同109%の163億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比73%の373万枚・巻、金額で同57%の40億円となっている。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	2月実績						2014年1月～2014年2月累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比		
シ	8cmCD	邦	2	0	125%	1	0	119%	3	0	115%	2	0	123%
		洋	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
		計	2	0	118%	1	0	112%	3	0	111%	2	0	119%
ン	12cmCD	邦	5,580	37	102%	4,027	25	131%	8,880	32	95%	6,408	23	103%
		洋	102	1	529%	24	0	179%	112	0	320%	31	0	181%
		計	5,682	38	104%	4,051	25	132%	8,992	33	96%	6,439	23	103%
ル	小計	邦	5,582	37	102%	4,029	25	131%	8,883	32	95%	6,410	23	103%
		洋	102	1	526%	24	0	178%	112	0	319%	31	0	180%
		計	5,684	38	104%	4,053	25	132%	8,995	33	96%	6,441	23	103%
12cmCD アルバム	邦	7,013	47	90%	10,403	64	106%	13,805	50	103%	17,898	63	107%	
	洋	2,234	15	94%	1,703	10	89%	4,481	16	103%	3,744	13	102%	
	計	9,247	61	91%	12,107	74	103%	18,285	66	103%	21,642	76	106%	
CD 合計	邦	12,596	84	95%	14,432	89	112%	22,688	82	100%	24,308	85	106%	
	洋	2,336	16	98%	1,727	11	89%	4,593	17	105%	3,775	13	102%	
	計	14,931	99	95%	16,159	99	109%	27,280	99	100%	28,083	99	106%	
アナログ ディスク	邦	0	0	8%	1	0	14%	15	0	48%	34	0	84%	
	洋	4	0	21%	5	0	16%	7	0	33%	9	0	26%	
	計	4	0	19%	6	0	16%	22	0	42%	43	0	57%	
カセット テープ	邦	74	0	56%	63	0	57%	190	1	75%	158	1	76%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
	計	74	0	56%	63	0	57%	190	1	75%	158	1	76%	
その他	邦	15	0	236%	21	0	425%	53	0	270%	67	0	251%	
	洋	16	0	90%	37	0	96%	42	0	81%	83	0	78%	
	計	31	0	128%	58	0	134%	95	0	133%	150	1	113%	
合 計	邦	12,685	84	95%	14,517	89	112%	22,945	83	99%	24,566	86	106%	
	洋	2,355	16	97%	1,769	11	88%	4,642	17	104%	3,867	14	101%	
	計	15,040	100	95%	16,286	100	109%	27,587	100	100%	28,434	100	105%	

### ● 音楽ビデオ

	2月実績						2014年1月～2014年2月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	
DVD	邦	3,060	82	68%	2,702	67	52%	6,387	83	85%	7,778	69	95%
	洋	109	3	78%	127	3	71%	249	3	103%	274	2	87%
	計	3,169	85	68%	2,829	70	53%	6,636	86	85%	8,051	72	94%
Blu-ray Disc	邦	557	15	123%	1,193	30	69%	1,070	14	162%	3,117	28	127%
	洋	7	0	67%	20	1	81%	11	0	36%	32	0	44%
	計	563	15	122%	1,213	30	69%	1,081	14	157%	3,149	28	125%
テープ・その他	0	0	75%	0	0	42%	0	0	116%	1	0	94%	
合 計	邦	3,617	97	73%	3,896	96	56%	7,458	97	91%	10,896	97	102%
	洋	116	3	77%	147	4	72%	260	3	95%	306	3	79%
	計	3,732	100	73%	4,043	100	57%	7,717	100	91%	11,202	100	101%

### ● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

	2月実績						2014年1月～2014年2月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	
オーディオ	15,040	80	95%	16,286	80	109%	27,587	78	100%	28,434	72	105%	
音楽ビデオ	3,732	20	73%	4,043	20	57%	7,717	22	91%	11,202	28	101%	
合 計	邦	16,302	87	89%	18,413	91	93%	30,403	86	97%	35,462	89	105%
	洋	2,471	13	96%	1,916	9	87%	4,901	14	103%	4,173	11	99%
	計	18,773	100	90%	20,329	100	92%	35,304	100	98%	39,635	100	104%

### ● ビデオ（含音楽ビデオ）

	2月実績						2014年1月～2014年2月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	6,026	75	80%	8,350	63	78%	11,725	78	88%	18,619	67	98%
テープ・その他	2,041	25	122%	4,899	37	87%	3,303	22	107%	9,072	33	97%
合 計	8,067	100	88%	13,248	100	81%	15,028	100	91%	27,691	100	98%

### ● オーディオ/ビデオ合計

	2月実績						2014年1月～2014年2月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ	15,040	65	95%	16,286	55	109%	27,587	65	100%	28,434	51	105%
ビデオ	8,067	35	88%	13,248	45	81%	15,028	35	91%	27,691	49	98%
合 計	23,107	100	92%	29,535	100	94%	42,615	100	97%	56,125	100	101%

備考 1.本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む  
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある  
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

## 音楽ソフト

### 邦楽

#### アルバム

##### ● ゴールド

EXIT TUNES PRESENTS ぐ～そんなふいんぎで歌ってみた～	ぐるたまん	2011.12.28	EXT
Sexy Second	Sexy Zone	2014.02.19	PC
新世界	ゆず	2014.02.19	SN

#### シングル

##### ● ミリオン

前しか向かねえ	AKB48	2014.02.26	K
---------	-------	------------	---

##### ● ダブル・プラチナ

Bittersweet	嵐	2014.02.12	JA
-------------	---	------------	----

##### ● プラチナ

キング オブ 男!	関ジャニ∞	2014.02.19	TE
AinoArika / 愛すればもっとハッピーライフ	Hey! Say! JUMP	2014.02.05	JA

##### ● ゴールド

Hide & Seek / Something	東方神起	2014.02.05	AMI
-------------------------	------	------------	-----

### ビデオ

##### ● ゴールド

namie amuro FEEL tour 2013	安室 奈美恵	2014.02.26	AMI
Perfume Clips	Perfume	2014.02.12	TJC

### 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AMI: エイベックス・マーケティング / EXT: エグジティブ・ミュージック / JA: ジェイ・ストーム / K: キングレコード / PC: ポニーキャニオン / SN: セーニャ・アンド・カンパニー / TE: テイチクエンタテインメント / TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ / UM: ユニバーサルミュージック / V: ビクターエンタテインメント

※日付は発売日

## 有料音楽配信

2014年1月度からの認定区分変更に伴い、当月度は80作品を認定。

本号では、ミリオン認定4作品のみを掲載。その他76作品の詳細は、当協会HP (<http://www.riaj.or.jp/data/others/chart/w140320.html>) を参照のこと。

### 「シングルトラック」

#### 邦楽

##### ● ミリオン

創聖のアクエリオン	AKINO	2005.04.27	V
マル・マル・モリ・モリ!	薫と友樹、たまにムック。	2011.05.14	UM
やさしくなりたい	斉藤 和義	2011.10.21	V

#### 洋楽

##### ● ミリオン

ボーン・ディス・ウェイ	レディー・ガガ	2011.03.02	UM
-------------	---------	------------	----

※日付は配信開始日

## 協会からのお知らせ

### 「日本のレコード産業2014」発行

当協会は、「日本のレコード産業2014」を発行いたしました。本誌は、2013年のレコード産業の概要を網羅したA4版28頁の小冊子で、レコードの生産実績、有料音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定、世界売上などを幅広く掲載しています。なお、本書の英語版「RIAJ Yearbook 2014」は近日中に発行予定です。本誌のPDF版については、当協会ホームページ (<http://www.riaj.or.jp/>) をご覧ください。



エルマーキャラクター  
エルマーくん

**THE RECORD No.653 2014年4月号**  
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明  
編集人 田口 幸太郎  
発行日 2014年4月10日  
発行 一般社団法人 日本レコード協会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F  
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

メタリカ、ラン・ランの異色コラボによる圧巻のステージ、ファレル・ウィリアムス、スティーヴィー・ワンダーをはじめとした超豪華な奇跡の共演に沸きに沸いたダフト・パンクのパフォーマンス等、今年も話題満載だったグラミー賞。合間に映る中継カメラでは観客が皆一様に笑顔で踊りまくり会場中が波打つ姿。まさに「Get Lucky」な空間が印象的でした。5組のネクストミリオンアーティストが集ったGDフェスは、アーティスト同士のコラボまでは叶いませんでしたが、5組の歌がダイレクトに心をつなぎ、こころ温まる時間をお届けする事ができました。ご出演頂いたアーティストの皆さまはじめ、ご尽力いただいた関係各所の皆さまにこの場をお借りして、あらためて御礼申し上げます。(T)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト (<http://www.riaj.or.jp/>) のお問い合わせページよりお寄せください。